

午後 2 時 00 分 開始

【広報広聴課長】 お待たせをいたしました。定刻の時間となりましたので、5月市長定例記者会見を始めさせていただきます。

本日の会見の進行につきましては、お手元に配付の次第のとおり、最初に市長のあいさつ、その後、事業発表を行います。質問につきましては、最初は事業発表について質問をお願いしたいと思います。

それから、終了は15時、午後 3 時を予定いたしておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、市長、よろしくお願ひいたします。

【市長】 5月の定例発表ということで、記者の皆さん方には5月連休がなかったのではないかというようないろいろなことがございました。私どももなかなか落ち着きのない5月の始まりであったわけがございますけれども、もんじゅのほうも運転を再開したということがございます。私ども市といたしましても安心・安全のうちにしっかりと研究成果を發揮していただきたいなという、そのような気持ちでございます。私どもの取り組み、また原子力関連、これから多くの話題はあるというように存じますが、市としてもしっかりと取り組んでいきたい、このような思いであります。

今日は事業発表4つの項目がございますけれども、それにつきまして発表させていただきますので、よろしくお願ひします。

まず第1番目でありますけれども、平成22年度の敦賀市の職員採用候補者試験の実施ということで、一部変更し、実施をしたいということであります。資料は皆さん方のお手元にお配りはしてあるというふう存じますが、そのような形で少し前倒しをして、大学卒業程度の皆さん方は前期試験ということで行うものがございます。要項等については、ここに書いてございますけれども、人数等々についてはまた6月のほうで正式に発表させていただきたい、このように思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

次に、22年度の水防訓練であります。

環境が変わってきている関係もあるのかもしれませんが、非常に集中豪雨等が多い世の中になっておりまして、水防の重要性、そういうものをしっかりと高めることを目的としまして水防訓練を毎年行っておりますけれども、今年も下記のとおり実施をしますので、よろしくお願ひしたいというふうに存じております。詳しい内容につきましては、5月22日の土曜日の9時から10時半まででありますけれども、場所等についても昨年度どおり、また訓練内容も大体昨年行ってきたとおりでございます。

次に、中郷公民館建設予定地に大町田遺跡が出たわけでありまして、その出土の何か珍しい絵画のかいた土器だということでありまして、全国的にも珍しいそうでございますけれども、その土器の展示を行いたいということでございます。これもお手元にお配りをしてありますとおりでございまして、裏にカラーの写真もつけてございますけれども、なかなかよく見ないとわからないような絵ではございますけれども、非常に貴重なものではないかなというふうに思っておりますので、これを皆さん方に見ていただきたいなと思っております。

それと最後は親子のフェスティバル、これも例年行っておりますけれども、青少年健全育成市民会議の皆さん方を中心として行うものでございます。親子の触れ合いということで今いろいろと話題にもなっておりますけれども、敦賀市では28回目ということでかなり前からこういうことに取り組んでいるところでございます。内容等につきましては、お手元を書いてあるとおりでございます。

以上であります。

【広報広聴課長】 ありがとうございます。

それでは、ただいま市長から発表いたしました4項目について質問を受けたく思います。最初に幹事社からお願ひします。

【記者】 職員採用試験のことなのですが、例年いつごろ実施されるのかということと、それから人数は今後ということですか。実施時期、例年いつで、なぜ前倒しされるのかという理由を教えてください。

大町田遺跡のほうなのですが、初めての展示をされるということでよろしいんでしょう

か。

【総務部長】 それでは、市の採用試験の関係でございますが、例年いつごろされているかということでございますが、昨年ですと9月中旬に行っております。それも大学卒業とあと高校、短大卒業、一緒の時期に行っておりましたが、大学卒業部分と高校、短大卒業の2つを分けまして、前期試験といたしまして大学卒業の部分についてさせていただくと。本来であれば高校等についても前倒しして一緒にやりたかったわけですが、これにつきましては、文部科学省、また厚生労働省の職業安定局長のほうから通知が出ておりました、高校卒業者等につきましては、9月16日以降にさせていただきたいということでの主要経済団体代表者に依頼が出ております。これを受けて、市につきましても高校卒業等については9月中旬以降にするということで、大学卒業だけを前倒しさせていただくものでございます。

【教育委員会事務局長】 それから、大町田遺跡の絵画土器につきましては、5月11日火曜日ですけれども、10時から文化振興課の分室、敦賀病院の前になるんですけれども、こちらのほうで詳細につきまして発表させていただきたいというふうに思っております。

【記者】 市長にお伺いしたいんですが、大学だけ前倒しした理由というのを。

【市長】 やはり優秀な人材を早く確保したいという思いであります。

【広報広聴課長】 今、会見の途中なんですけど、共同通信の竹内さんという方が初めてお目にかかるわけなんですけれども、異動がありまして、共同通信社として配属になったということなので、ここに紹介させていただきますので、お願いします。

【記者】 記者になって3年目で、前任地は四国の高松にいました。地元は愛知県で、こちらからは近いですが、北陸に来たことは一度もなくて、これから仕事面でもプライベートでも楽しんでいきたいと思えます。よろしく願いいたします。

【広報広聴課長】 ありがとうございます。

それでは、各社質問を賜りたいと思います。ありましたらお願いいたします。

【記者】 大町田遺跡の件なんですけれども、絵画土器の発見の意義というのはどういったものなんでしょう。

【教育委員会事務局長】 古墳時代の初めごろというような年代になると思うんですけれども、この時代になりますと、資料をお配りしていると思うんですけれども、ペーパーに書いてあります3番目にあるんですけれども、絵画とかこういう記号とかというものが土器に描かれなくなってきているというようなことがございまして、弥生時代の中期ぐらいにはこういった絵画土器というのは隆盛をきわめておりました、古墳時代の初頭に入りますと、そういったものが一切なくなってきているというような状況らしいです。そういった意味で、一応珍しいということだと思います。

【記者】 確認なんですけれども、これ別に解禁つきじゃないですよね。

【教育委員会事務局長】 11日に詳細につきましては説明をさせていただきますので、11日までお待ち願いたいと思います。よろしく願いいたします。

【市長】 専門家が11日にそこでその物を前にやりますから、またぜひ取材をしてください。

【記者】 同じく大町田遺跡の件なんですけれども、調査期間が平成20年5月15日からということで2年ぐらい前にやったものなんですけど、これを今このタイミングで発表したというのはどういったことなんでしょうか。

【教育委員会事務局長】 発掘調査を平成20年に行いました。それから、発掘して出てきた遺物の整理、それが21年度になってようやく一応整理ができて、こういったものが見つかったということでございます。ですから一応このタイミングで発表するということです。

【記者】 整理した中で一番珍しいのがこの絵画土器だったということではないんでしょうか。

【文化振興課文化財係長】 出土したものを洗ったり、そういった整理をするんですが、さらに成果についてより詳しい専門家等が検証いたしまして間違いはないということが判明しましたので、今回発表させていただいたということになります。

【広報広聴課長】 ほかにございませんでしょうか。

ないようですので、次に次第の3番目、フリーの質疑に入りたいと思います。

これも最初、幹事社からお願いしたいと思います。

【記者】 まず、昨日、もんじゅが14年5カ月ぶりに運転再開しました。それについての思いをお願いしたいのと。

今日、早速、検出器のほうで警報が出たんですけれども、それについて今後機構のほうに何を求められるか、保安院のほうに何を求められるかについてお伺いしたいと思います。

【市長】 昨日にもお話をさせていただきましたけれども、14年5カ月ぶりにもんじゅの運転を再開したということ、もんじゅの本来の使命といいますか、そういうものを果たすわけでありまして、そういう意味では非常に長く止まっていたなということ、また私の市長就任の年にもんじゅが停止をして、ようやく動いたわけでございますから、いろいろ感慨深いものもあります。ぜひ安心・安全の中で安定した研究成果を上げていくように期待をしたいなというように思います。

それと警報が鳴ったということで、私どもに連絡が入ったのが2度目の後ということありますので、確かに時間も遅いということではありますが、電話一本、こういうことがありましたけれども大丈夫ですというような報告はあるほうがいいなというように思います。保安院の方が今回はずっと張りついている状況でありましたので、そういう面で安全確認をしっかりとできたということもあるかもしれませんけれども、何度も言っておりますように、何でもいいですからあれば報告をしていただければ、そういうことがありましたよということでお答えもできますので、そういうような体制を引き続いて求めていきたいなと思います。

【記者】 機構は、結局、2回目の警報でというお話なんですけれども、機構の発表とか、そういう注文はございますか。

【市長】 今、詳しく調べているようでございますので、安全性にかかわること等がありますから、保安院も今いますので、そういう調査結果を待って、どうしたらいいのかなということは考えたいと思います。

【広報広聴課長】 それでは、フリーの質疑、各社にお伺いしたいと思います。質問ある方は挙手をお願いします。

【記者】 誤警報のことなんですけれども、2度目の後に機構から連絡があったというふうにおっしゃっていたんですけれども、何時ごろになるんでしょうか。

【原子力安全対策課長】 機構から原子力安全対策課のほうに連絡がございましたのは、本日11時28分でございます。

【記者】 本日の11時28分。どういった連絡内容だったんでしょうか。どういう連絡で入ってきているんですか。

【原子力安全対策課長】 連絡内容につきましては、破損燃料検出設備にかかります検出器の警報が発報したと。発報は10時01分、10時46分、11時09分に3回発報しました。警報発報の原因はノイズによるものと推定されており、現場にて保安検査官の確認を受け、検査官も試験継続に支障はないという判断をされ、性能試験を順調に進めているという報告を受けております。また、この件につきましては、本日12時30分より保安院からプレスセンターにて公表されるという報告がございました。

以上でございます。

【記者】 わかりました。

済みません、あと1点だけ。

1度目の警報が鳴ったときに連絡がなかった理由とかは何か説明はあったんですか。

【原子力安全対策課長】 それも含めて今、確認をしているところでございます。

【記者】 今の話の確認ですが、1度目の警報というのは、今言っておられた10時01分ごろ、46分ごろ、11時09分ごろ発報しているうちの1回目ということですか。それとも昨日の夜にも警報があったようなんですが、そのことをお指ししになっていらっしゃいますでしょうか。

【原子力安全対策課長】 11時28分に報告を受けましたのは、10時以降、3回分でございます。現在、昨日のものについても、あわせて原子力安全対策課のほうで確認をしている最中でございます。

【記者】 では、市長が先ほどおっしゃられた、どんなことでもいいからというのは、昨

日の夜のことを指していらっしゃるということでもよろしいですね。

【市長】 はい。

【記者】 今の誤警報の件なんですけれども、市長、今どんなことでも電話一本でもいただければいいというふうにおっしゃったんですが、今回のことが例えば機構がこれから運転再開して、信頼回復というところで情報公開という意味合いになると思うんですけれども、そういうところに影響があるとはお考えにはなりますか。

【市長】 今、課長言いましたように、詳しく1回目のことを調べていますので、そのあたりの結果が出てからだと思いますけれども、私、前にも言うておりますように、何でもいいですから、もしこういうことがあれば、こういうことがありましたということで報告をいただくことは大事かなと思っていますので、しっかりそういう報告があった後にまたそれ確認をして、機構に言うことはちゃんとしたいと思います。

【記者】 今回のこれで例えば機構のほうに厳重注意といいますか、例えば注文つけるとかそういうことはされる予定はないでしょうか。

【市長】 その結果次第ではそういうことになるかもしれません。

【記者】 今のことをもう一度時系列でお教え願いませんか。警報は何時何分に3回分と言いましたね。何時何分、何時何分、何時何分の警報だというふうに。

【原子力安全対策課長】 本日、11時28分に我々が受けました報告時間につきましては、10時01分、10時46分、11時09分の3回、警報が発報されたと。これが第1報でございました。

今現在確認をしている中では、昨日23時09分発報があったという報告を第2報で受けております。

【記者】 市長は11時28分に原子力安全対策課のほうに連絡が入って、その後何時に連絡を受けられたのですか。

【市長】 これはちょうど庁議をやっていたから、そのときに報告を受けました。

【記者】 11時28分にその後3回の警報があったというふうなことなんですけれども、その前に12時半からの記者会見では一番初めに昨日の11時09分に警報があったというふうなことを保安院のほうから発表があったわけですね。昨日のことですね、1回目。それと10時に定例の会見を原子力機構が現地でやるわけなんですけれども、そのことは一切マスコミには公表しなかったわけですね。それで12時半に保安院のほうが発表したわけですね。このことをどう思われますか。

【市長】 安全をしっかり確保するまたチェックするのは保安院でありますから、今回ちょうど臨界が明日で、保安院もずっと張りついておりますので、そういう中で保安院が行ったことがいいのか悪いのか、私もちょっとその辺はわかりませんが、ただ私どもも聞いたのは11時28分ですから、市役所に言う前には発表しなかったのかなという気がしますし、そのあたりトラブルにもいろんなランクがありますので、極めて危険性の伴う、また危ないというようなトラブルと、前もありました非常に軽微なやつで、保安院もいて心配ないと、試験も続けられるという事象であったので、そのあたりでこういう形になったのかなというように思いますけれども。

【記者】 11時28分のときには、原子力機構は昨日の23時09分を把握していたんじゃないでしょうか。そういうふうな思いはございませんか。

【市長】 そのあたりちょっと推測になりますので、何とも言えないなと思います。

【記者】 昨日の23時09分に警報が鳴っていたというような連絡、いわゆる市のほうに入った第2報というのはいつごろ連絡がどのように入ったんでしょうか。

【原子力安全対策課長】 時間は計測しておりませんが、1時前でございます。1時前に23時09分発報があったと。

【記者】 実は昨日、そういった警報がありましたというような連絡を受けて、当然ですけども、昨日そういう警報があったのにどうして連絡をしなかったんですかというような問い合わせもしたと思うんですけれども。

【原子力安全対策課長】 今、確認の中で行っております。

【記者】 現時点ではわからないということですね。

わかりました。ありがとうございます。

【記者】 最新情報であと1点だけお伺いしたいんですけども、今一番新しい情報で、警報は6回鳴ったということらしいですけども、そのことについてどう思われますか。

【市長】 私も今初めて聞いたものですから、ノイズが原因で鳴ったということでありますので、いち早く原因を究明して、そうならないほうがいいでしょうからそういうふうに対応していただけたらと思います。その辺の警報の数については、詳細に私ども把握はしておりませんが、しっかりとそういうような調査をしてほしいと思います。

【記者】 4月28日に文部科学大臣が来られた際に、情報公開もおっしゃられていましたよね、もんじゅ再起動に。今回の対応は、市長としては文科大臣の言葉を受けてどう思われますか。情報公開が積極的だと思われるか、そうではないか。

【市長】 今回の事象についての詳しい最終的なことがわかっておりませんので言えない部分はありますが、私は先ほど言いましたように、何でもいいですからあったら報告さえしていただければなという気持ちはありますので、その辺の部分を改めてまた文部科学省なりに、私どもは今言ったようにささいな情報でもいいですから、私どもにだけ聞いたらこれが一番情報公開の基本ですし、それがまた住民への安心につながっていきますのでということで、そういうことはまた機会があれば文部科学大臣なり、また関係者の皆さん方にお話をしたいなと思います。

【記者】 我々の気分としては、あれだけ再開に向けていろんなお話をされて、双方が、地元自治体も、それから事業者側も固い握手を交わして情報公開をするということでお話をして、ようやく再開にこぎつけたという思いが強いはずなのに、我々としては非常に出ばなをくじかれた思いなんです。市長としては、このレベルのことでこういうような半ば混乱ですね。そう混乱することについて所感を聞かせていただければと思いますが。

【市長】 立ち上がってようやく運転再開ということで、そういうふうに少し気が行き過ぎて、やはりまだ地に足が着いていない状況かなという気がしますが、ぜひそのあたりは運転再開決まってもう動いているんですから、しっかりと地に足を着けて対処をしてほしいと思います。

【広報広聴課長】 ほかにありませんか。

ないようですので、これにて5月市長定例記者会見を終わりにさせていただきます。

ありがとうございました。

【市長】 ありがとうございました。

午後2時28分 終了